

## 1. 研修テーマ

財務からの学校経営の参画 ～連携を通して～

## 2. 内容

(1) 学習指導要領から、これからの子どもたちの学びを理解し、学校に必要な人、物、予算について学ぶ。

①新学習指導要領や学習指導要領改訂のポイントから、事務職員が財務から関わる方法についての検討。

(別紙参考資料)

②教材整備指針の改定に伴う予算要求について。

(別紙参考資料)

(2) 専門職のスタッフとの連携についての現状と今後の取り組みについての研修。

①県費職員 常勤・非常勤

②市町職員 常勤・非常勤

③地域支援本部事業コーディネーター・ボランティア

④その他ボランティア等

(3) 事例を持ち寄っての研修。

①平成29年度 報告済

②平成30年度 報告済

③令和元年度

- ・学校事務連携・学校事務共同実施について
- ・給与・・・管理職手当の確認、扶養手当の資格確認、借家から自宅への住居変更等
- ・賞与の所得税について
- ・再任用職員の退職事務手続きについて
- ・非常勤講師の期末手当について
- ・外国籍児童生徒への支援について
- ・就学援助費について
- ・集金システムについて 等

## 3. まとめ

今年度は学習指導要領を部会で購入し各自読んでから研修に臨み、改定のポイントや改正に伴い必要となる教材についてなど学習指導要領の理解を深めた。専門職スタッフとの連携については、勤務実績報告の必要な職員が多いことに驚きながら現状と改善策について話し合った。

財務からの学校経営への参画には、研究大会でも学んだように、学習指導要領や学校教育目標の趣旨（子ども達にどのような資質・能力を身に付けさせるか）を正確に理解し、それを事務職員の立場から具現化できるよう情報を活用し、様々なスタッフと連携・協働しながら、児童生徒の学習環境を整備することが大切である。今後も各自専門性を発揮できるよう研修を行っていきたい。